

ロータリー財団 地区補助金事業報告

広島東南ロータリークラブ(G-7)

- 南三陸町立志津川中学校へ、復興支援として、スポットライト1台及び付属品を寄贈する。

- 贈呈式
 - 日 時：2017年9月7日(木)午後3時00分～午後4時00分
 - 場 所：南三陸町立志津川中学校（宮城県）

プロジェクト概要

今年度、ロータリー財団地区補助金事業として承認されたプロジェクトは、『南三陸町立志津川中学校へ、復興支援として、スポットライト1台および付属品を寄贈する』です。

9月7日、伊藤会長はじめ13名で東北震災被災地の志津川中学校を訪問し、同校からの教育機材の支援申し出を受けて、スポットライト一式を寄贈しました。

10月に予定されていた学芸会に間に合うように9月中に訪問し贈呈式を行いました。現地では、未だに復興は途半ばであり、教育資材についてもまだまだ不足しています。南三陸地方は最も被害の大きかった地区の一つで、人口の半数が死亡もしくは行方不明となりました。

志津川中学校の生徒達238人は今なお4割が仮設住宅での生活を余儀なくされ、8割を超える生徒がスクールバスで通学しています。

生徒達がスポットライトを使用した学芸会などを体験することで、豊かな表現力を身につけ有意義で充実した学校生活をおくるお手伝いになれば幸いです。

広島東南ロータリークラブは、仙台南ロータリークラブと連携して、過去4年間にわたり被災地支援事業として、ピアノの寄贈を行ってまいりました。これまでの被災地支援ならびに仙台南ロータリークラブとのご縁をつなぎ過去4年間と同様に被災地広島島の復興のシンボルとして、被爆樹木の苗木をあわせて寄贈しました。仙台南ロータリークラブのメンバーには、贈呈式に同席してくださり、その後バスに同乗していただいて、震災当時の様子や、復興の現状についてのお話を聞かせてくださいました。



スポットライトと被爆樹木苗木を
志津川中学校へ贈呈

